

Mitaka City Library

三鷹市立図書館

図書館だより

平成25年1—3月号

第6号 平成25年1月25日発行

編集・発行：三鷹市立図書館

三鷹図書館(本館)	上連雀 8-3-3	Tel.0422-43-9151
下連雀図書館	下連雀 6-13-13	Tel.0422-43-9159
東部図書館	牟礼 5-8-16	Tel.0422-49-3851
西部図書館	大沢 2-6-47	Tel.0422-33-1311
三鷹駅前図書館	下連雀 3-13-10	Tel.0422-71-0035

開館時間：9:30～17:00

※三鷹図書館は9:30～20:00、土・日・祝日は17:00まで

※三鷹駅前図書館は10:00～20:00、土・日・祝日は17:00まで

休館日：毎週月曜日、第3水曜日

※下連雀図書館は毎週水曜日・第1月曜日・祝日

<http://www.library.mitaka.tokyo.jp>

今年11月に新川五丁目に開館！ 南部図書館（仮称）



三鷹市新川 5-14-16

◆閲覧席たっぷり、テラスで談話や飲食も

三鷹市立の五つ目の分館、南部図書館（仮称）は、公益財団法人アジア・アフリカ文化財団が現在建設中の建物内に今年11月頃に開館する予定です。

南部図書館の床面積は全体で約760m²（東部図書館は597m²、西部図書館は690m²）。3階建て建物の1階約665m²が一般図書・児童図書のフロアになります。ゆっくり読書を楽しめるように多様なタイプの閲覧席を90席近く設け、屋外の小さなテラスは緑の中で談話や飲食もできるようにします。また、児童スペースのおはなしの部屋は、周囲に気兼ねせずにおはなし会や親子でのくつろいだ読書が楽しめるよう防音のための透明な仕

切り壁を設けるなど、乳幼児から高齢者までがくつろいで過ごせる施設です。

◆アジア・アフリカ図書館との協働

2階96m²は事務室と閉架書庫、対面朗読室兼ボランティア室があり、その隣にアジア・アフリカ文化財団が運営する「アジア・アフリカ図書館」がリニューアルオープンし、三鷹市民は無料で利用できるようになります。この図書館所蔵の「郭沫若文庫」などの貴重資料が1階の南部図書館の展示コーナーで公開されるほか、選書や収集での協力、外国語のおはなし会など、二つの図書館の協働による特色ある活動にもご期待ください。

また、3階にあるアジア・アフリカ語学院の教室は、週末や夏休み中など、図書館や社会教育関連の事業等に使用できます。

◆今後のスケジュール

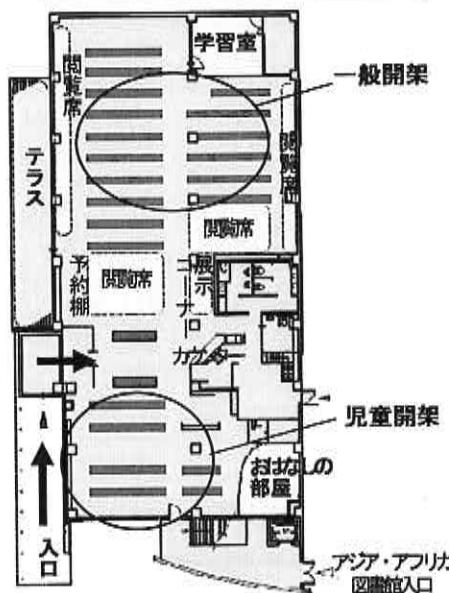
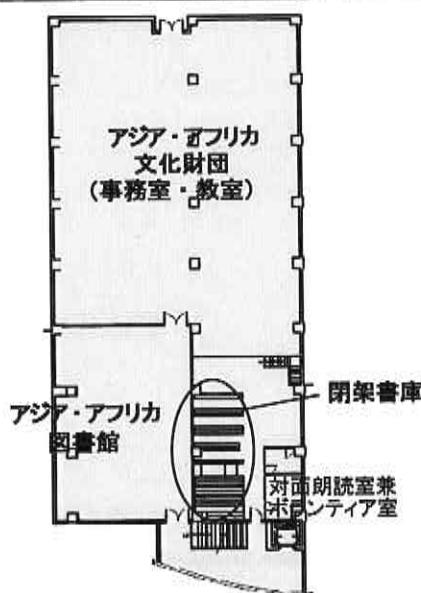
今年4月から8月にかけて三鷹市が南部図書館内装工事を行い、その後、開館準備作業や外構工事を経て開館を迎える予定です。どうぞお楽しみに。

市立図書館全館とひまわり号
蔵書点検のため
休館します

2月18日(月)～22日(金)

2階 南部図書館 事務室・閉架書庫
アジア・アフリカ図書館 ほか

1階 南部図書館
一般開架、児童開架 ほか



～視覚障がいをお持ちの方へのサービス紹介～

三鷹図書館（本館）では図書（墨字※）による読書が困難な視覚障がいをお持ちの方等（三鷹市に在住・在勤・在学の方）へ下記のサービスを行っています。これらのサービスは、本を読むことを諦めていた方に、読書の楽しみを再発見していただくため、音訳ボランティアのみなさんの協力を得て行っています。ぜひご利用ください。

※「墨字」とは点字に対して晴眼者が読む字、普通の字のことを言います。

対面朗読

音訳ボランティアの協力により、利用者の希望する資料を図書館の対面朗読室などで朗読するサービスです。事前にお申し込みください。



録音図書の貸出



録音図書とは墨字の図書を原本のとおりに音訳したもので、カセットテープとディジタル図書があります。貸出は郵送などで行っています。

ディジタル図書（左）と再生機（右）

ディジタル図書を再生するには、専用の再生機や無償の再生ソフトが必要です。

その他にも…

- ・点字図書の貸出
- ・図書案内や新聞記事を紹介した録音資料の送付などを行っています。

障がい者サービスをご利用いただくには、事前に本人または代理人による利用登録が必要です。詳しくは三鷹図書館（本館）障がい者サービス担当までお気軽にお問い合わせください。



ストーリーテリング連続講座から新しいグループ誕生！

あなたも「おはなし」を語ってみませんか？

昨年9月から11月にかけて実施されたストーリーテリング連続5回講座。長年子どもにお話を語ってきた国立おはなしの会所属の平塚ミヨさんを講師に招き、30人以上の参加者が、おはなしを覚え、大勢の前で語るという体験を交えて学びました。そして、これからも語りを続けたいという講座修了生が自主的な勉強と活動を続けるために新しいグループ（名称は未定！）を結成しました。興味のある方はぜひ一緒に。図書館の児童サービス担当にご連絡いただければご紹介します。



ご利用ください！ 移動図書館「ひまわり号」

13か所を2週に1回巡回中のひまわり号ですが、今回は、地域の活動と密着したステーションをご紹介します。どちらも赤ちゃんからお年寄りまで楽しめる企画がいっぱいです。

★三鷹台団地会場 牟礼2-14-40

三鷹台団地第一集会所前の広場（7号棟横）

平成24年10月から、三鷹台団地自治会の後援による“みんなのブックカフェ@三鷹台団地”が始まっています。

巡回時間 隔週火曜日 午前10時30分～正午
今後の巡回日程 1月8日、22日、2月5日、26日、3月12日、26日



三鷹台団地会場の様子

★三鷹台児童公園会場 井の頭1-3-26

三鷹台児童公園内

地域の交流の場として平成20年から始まり5年目に入った井の頭一丁目町会主催による“みんなのブックカフェ”も元気に活動中です！

巡回時間 隔週火曜日 午後1時30分～4時

今後の巡回日程 1月15日、29日、2月12日、3月5日、19日

「資料室」へどうぞ

三鷹図書館(本館)の2階に、調べものができる専門のスペース「資料室」があります。さまざまな資料が揃っていますので、ぜひご利用ください。使い方がわからないときは、担当職員までどうぞ。

◆レファレンスって何?

…「調べもの、探しもの、お手伝いします!」

ピッタリくる日本語が無く「調べもの、探しもの、お手伝いします」と説明されているのが「レファレンス」です。

現代では、調べものをする時、インターネットで検索してしまうことが多いですが、なかなか欲しい情報や信頼できるデータが見つけられない場合があります。図書館では、資料室などのたくさんの資料を使って調べものができますが、一人での調査に行き詰った時など、職員に相談することができます。職員は、本や雑誌、新聞からデータベースといった様々な情報から、利用者一人ひとりのニーズに合った情報を探し出すノウハウを持っていますので、効率的に「確かな、質の高い情報」を短時間で得ることができます。

また、探している情報がその図書館で見つからない時には、それを持っている別の図書館に問い合わせたり、資料を取り寄せたりすることもできます。

質問の多い「三鷹に関すること」については、「歴史」「地理」「人物」に分けて「三鷹に関するレファレンス事例集」として、「三鷹市立図書館ホームページ」に掲載していますから、こちらもご覧ください。

(三鷹図書館HP・レファレンスページ…

<http://www.library.mitaka.tokyo.jp/reference.html>

図書館のお仕事◎交換便の巡回

通常は目にふれにくい図書館サービスの裏側を紹介するコーナーです

本の返却は、貸出手続きをした館以外の市立図書館でも出来る事をご存じですか?

他の市立図書館に返却された本は、「交換便」で所蔵館へ戻しています。「交換便」は皆さんのが予約をした本や、所蔵館以外の図書館で返却された本をコンテナにいれ、トラックで各館に運搬をする図書館の物流システムです。土日祝日を含む毎開館日に運行をしています。貸出手続きをした図書館とは別の館で返却ができますので、是非ご利用ください。(他の公共図書館等から取り寄せした本やCD・カセットは貸出手続きをした館に直接ご返却ください。)



返却督促を行っています

三鷹市立図書館では様々な理由で返却期限が過ぎてしまった資料を早めに返却していただくため、返却督促を行っています。

- Eメールでの督促 Eメールアドレスを登録している方へ返却期限の翌日夜間に返却をお願いしています。
- はがきでの督促 予約が入っている資料に対して返却期限から10日以上経っているものに、はがきで返却をお願いしています。予約の入っていない資料に対しても返却期限から41日以上経っているものに、はがきで返却をお願いしています。
- 電話での督促 Eメールやはがきでの督促を行っても、なお資料の返却が遅れている方へ毎週電話で返却をお願いしています。

期限内の返却にご協力をお願いします。

なお、館内の利用者端末機、三鷹市立図書館ホームページ・携帯サイトから、1回に限り、手続き当日から2週間の延長ができます。ただし、既に予約が入っている資料、返却期限が過ぎている資料、他の公共図書館等から取り寄せした本の借用資料、CD・カセットの延長はできません。



本館から分館に送る本は1日でこんなに。


**図書館員
おススメの1冊**

『いのちつぐ「みとりびと」1 恋ちゃんはじめての看取り—おおばあちゃんの死と向きあうー』
國森康弘/写真・文 農山漁村文化協会 2012
児童ノンフィクション 490

小学校5年生の恋(れん)ちゃんが、おおばあちゃんの死と向き合う写真絵本です。大好きなおおばあちゃんが亡くなって、その手足にふれ、「寝顔」を見て、思い出をたどります。「いつか、おおばあちゃんみたいにやさしいおばあちゃんになれるかな」
子ども向けの本ですが、ぜひ、ご家族で手にとってみてください。

『ちいさなてのひらでも』 やなせたかし/著 双葉社
2011 9分類(文学) 911.5

アンパンマンで有名な、やなせたかしさんの大人が読んでも心暖かくなる詩集です。

「幸福」と「希望」が日常の小さな出来事で綴られていて、優しさと思いやりに溢れた一冊です。

『本土の人間は知らないが、沖縄の人はみんな知っていること—沖縄・米軍基地観光ガイド』
須田慎太郎/写真 矢部宏治/文 前泊博盛/監修
書籍情報社 2011 3分類(社会科学) 395.3

我が国を代表するリゾート地・沖縄は、ご存知のとおり米軍基地の島でもある。その米軍基地にフォーカスを絞った「観光ガイド」なのであるが、読み物としても秀逸。基地問題に揺れ続ける沖縄の、過去から現在に至るまでの変遷が手に取るように理解できる本書は、本当の沖縄を知らないヤマトンチュ(大和人=本土の人間)にとって格好の沖縄入門書であり、一級の「観光ガイド」である。

『息子へ。』 飯野賢治/著 幻冬舎 2011
5分類(技術・工学) 543.5

震災と原発について父が息子に宛てたメッセージの本。…と聞くと、硬い文を思い浮かべるかもしれません、「この間、一緒に、お墓参り行ったな。(中略)イカ焼きまで食べて、楽しかった。」という書き出しの、やさしい語り口で綴られています。本書は、東日本大震災直後、多くの共感を呼んだ著者のブログ記事を基にしています。「世界がもし100人の村だったら」の著者、池田香代子さんも推薦するこの本。震災から2年の今、改めて読んでみてください。

オリジナルの「ポッポの歌」で はじまる楽しいプログラム おはなしポッポ

市民活動グループ紹介⑤

「おはなしポッポ」は、平成18年に新川中原コミュニティ・センターで行われた、「子どもと絵本ボランティア講座」がきっかけでできたグループです。現在は、東部図書館と新川中原コミュニティ・センターで、月1回未就園児を対象に、おはなし会をしています。

講座では、様々な場面で子どもや絵本と関わっている方のお話を聞き、すぐすぐひろばや図書館などの見学、そして、保育園に読み聞かせの実習を行きました。そんな中、コミュニティ・センターが一時工事で使えない期間があり、近くの地区公会堂で有

志が集まり、読み聞かせの練習や好きな本の紹介、楽しいおしゃべりをしました。この期間が大きな意味を持ったと思います。3月の修了式のころには、「ポッポ」という名前、毎月コミュニティ・センター幼児室でおはなし会を開くことが決まっていました。

絵本やパネルシアターのほか、わらべうたなど、体を動かすプログラムを取り入れて、飽きない工夫をしています。はじめとおわりにはオリジナルの歌もあり、お子さんたちが電車ごっこをするときなどに、口ずさんでもらえたらうれしいなと思っています。

毎月10時半から、第1水曜日が東部図書館、第1木曜日が新川中原コミュニティ・センターでおはなし会、第3木曜日には勉強会(おしゃべり会?)、お客様も増え、楽しく活動しています。新メンバーも募集していますので、お子さん連れでも、大人だけでも、どうぞお気軽に遊びにいらしてください。(おはなしポッポ・甘粕)



東部図書館
小さい子向けおはなし会の様子



楽しいわらべうた